

DJ-CH20/27 系トランシーバーには、説明書に操作方法が書かれていない下記のような機能が2つ搭載されています。これらの機能は必要がない環境では全くお使いにならないもので、説明書に書くと無駄で分かりにくくなることから敢えて記載しておりません。

## デュアルオペレーションモード（共通）

任意の2つのチャンネル間で、通話ができるモードです。1秒ごとにチャンネルを交互に受信し、どちらかで信号を受信したらしばらくスキャンが止まります。PTTの操作でどちらのチャンネルに应答するか選んで呼び出すこともできます。

事前に全てのトランシーバーにサブのチャンネルをメモリー登録しておく必要があります。

### 1. サブ側チャンネルをメモリー登録する

まずサブ側に設定したいチャンネル、トーン番号など基本的な機能を設定します。内容はそのままメモリーされますから、デュアルオペレーション運用したいトランシーバー全てが同じ設定になるよう、注意してメモリー登録してください。サブ側はPTTをポンポンと2回押すことで送信します。

登録したい内容を設定したら、表示中に【GROUP】キーを約2秒押します。「bwrit」と表示され、メモリーが登録されます。

### 2. メイン側チャンネルを設定する

メイン側で使うチャンネル、トーン番号などを合わせます。全てのトランシーバーで同じになるよう、注意して設定を合わせてください。メイン側のチャンネルは通常通り、PTTを一度押すと送信します。

### 3. デュアルオペレーションモードにする

電源を切ります。CH【 】キーを押しながら電源を入れます。

「dUAL」と表示され、設定した2つのチャンネルを交互に受信し始めます。信号を受信するとスキャン動作が止まります。应答しなければ約5秒後にスキャンを再開します。

注) メイン側/サブ側が同じチャンネルに設定されている場合、「E」表示が点滅し動作しません。正しい設定をしてください。

### 4. 送信する

通話したいチャンネルがメイン側に設定されたほうであれば【PTT】キーを通常通り、一度押します。サブ側で通信したいときは【PTT】キーを「ポン」と一度押してから放し、すぐにもう一度押します（二度押しをします）。2度目のPTT操作でサブ側にて送信しますので、ボタンを離さずそのまま通話します。

約5秒間送信しないと交互受信を再開します。

### 5. デュアルオペレーションモードを終了する

電源を切り、通常通り電源スイッチを使って電源を入れます。電源を入れ直してもデュアルオペレーションモードを保持するには、デュアルオペレーション中にキーロック機能をONにしてください。

## リモコンモード . . . **DJ-CH27 のみ**

この機能が対応する中継器の設定（チャンネル、トーン番号など）を、DJ-CH27 をリモコンとして使うことで遠隔操作にて変更することができます。中継器の取扱説明書も、必ず事前にお読みください。  
メモ：中継器 DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R に対応しています。

### 1. リモコンモードにする

CH【 】キーを押しながら電源を入れます。

[rmCon]と表示されたあと「中継」が点滅します。

この状態で無線機に設定した状態が、後ほど中継器に転送されます。

### 2. 転送する内容を設定する

#### チャンネル設定

CH【 / 】キーを押してチャンネルを設定します。

#### グループトーク設定

【GROUP】キーを押します。グループ番号が点灯します。

#### グループ番号を合わせる

【FUNC】キーを押しながら、CH【 / 】キーを押します。グループ番号は「01～50」までと「tH」が選択できます。

**メモ** ・中継器にトーンスルー機能を設定する場合には、グループ「tH」を設定します。  
トーンスルー機能とは、同じチャンネルに設定している複数のグループが、別々のグループ番号を使用して1台の中継器を共有することができる機能です。  
本機能で使用できるグループ番号は、「32～38番」「48～50番」の10通りです。  
詳しくは中継器の取扱説明書をご覧ください。  
・チャンネルやグループ番号は中継器と子機で同じになるように合わせます。

#### その他の設定

必要に応じて、セットモードで自動接続手順、ハングアップタイマー、アラーム機能を設定します。

#### 自動接続手順「At」

設定値 ON/OFF（初期値 ON）

中継器側の設定を OFF にした場合、子機側の設定は「OFF」または「ON2」としてください。

#### ハングアップタイマー「HUP」

設定値 0秒/0.5秒/1秒/2秒（初期値 0秒）

設定した時間だけ、受信信号が切れた後でも中継器はスタンバイ状態を継続します。

#### アラーム機能「AL」

設定値 ON/OFF（初期値 OFF）

ON に設定すると中継動作の終了を音でお知らせします。

### 3. 新しい設定値を中継器に転送する

中継器は予めリモコン設定ができるように、全てのスイッチをオフ状態にしておきます。手動設定されていると正しくリモコン設定ができません。

A Cアダプターを抜いて、中継器への電源供給を止めておきます。但し、下記の操作でトランシーバーからの転送が始まったら、速やかに電源を入れる必要があります。

DJ-CH27 の【PTT】キーを約 2 秒押します。「ピピッ」と音が鳴り、「SEnd」が点滅表示されます。この状態で

中継器への転送が始まります。

#### 4. 中継器の電源を入れる

速やかに中継器に AC アダプターを接続します。データの受信が始まり、転送が完了すると「」が表示され、本機から「プルル」音が鳴ります。

**メモ** 転送完了後、中継器は自動的に再起動します。再起動後、初期化の為に20秒ほど中継動作をしません。少しお待ちください。

#### 5. DJ-CH27の電源を入れ直す

通常の通信モードに戻ります。中継器と同じ設定になっていれば、中継器を介して通話できます。

以上